

めざす学校像・子ども像・教員像		課 題	今後の改善方策
【めざす学校像】 ○元気なあいさつが響き合い清掃が行き届いた学校 ○互いに信頼し合い和やかさの中にも規律ある学校 ○子供一人一人を全職員で見守り育てようとする学校 【めざす子供像】 ○相手の立場を理解し、他者と協力して共に伸びる子供 ○自ら学習に取り組み、よく考え、共に学び合う子供 ○心身の健康づくりに励み、明るく元気に活動する子供 【めざす教員像】 ○話をよく聞き、公平に温かく愛情を持って接する教職員 ○指導力を磨き、子供の「わかった」「できた」喜びを自分の喜びにできる教員 ○働き方改革を意識し、子供のために学校経営方針の具体化・具現化に参画する教職員		確かな学力の向上	○「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりの推進 ○体験的な活動を取り入れた授業づくりの推進 ○ICTを活用した授業づくりの推進 ○外国語科・外国語活動の研究推進 ○読書習慣の定着
		豊かな心と健やかな体づくり	○「自他の大切さを認め合う子供の育成」を図る心の教育の充実 ・対人関係を育む学級・学習活動 ・心を耕す道徳教育 ○自主的・自治的な特別活動の推進 ○コロナ禍における健康・安全・体力向上を図る取組の継続・進化
		信頼される開かれた学校づくり	○家庭・地域との連携・共育強化 ・情報発信と情報共有 ・児童を中心に据えた日常的な相談体制の確立 ○活力ある教育活動の推進ならびに児童に笑顔で向き合い、寄り添える職員体制整備のための働き方改革
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
確かな学力の向上	ICTの有効活用と、自らの考えを書く時間の保障・考えの伝え合いの方の工夫により、学ぶ意欲の向上を図る。	・ICTを活用した授業はどの学級でも一日に1時間は取り入れられるようになってきた。今後、考えの交流等にも使えるようにしてさらに児童の学ぶ意欲の向上に努めたい。 ・各教員が「自学・共学」を意識して授業づくりを行ってきた結果、児童の自己評価達成率89%となった。 ・1年生から外国語活動を積み重ね、6年間での学びを実感する小学校英語トライアルの好結果も得た。児童の自己評価達成率も90%と順調に伸びてきている。 ・年間を通じて、全校読書チャレンジを行い、読書に親しむ姿が増えた。2月末現在で目標を大きく上回る22018冊の読み上げ冊数となっている。	
	毎月の振り返り(自己評価)において、「自ら学ぶ」「共に学ぶ」項目に対する肯定的回答児童85%以上を達成する。		
	外国語の授業改善をすすめる。「進んでコミュニケーションしている」項目に対する肯定的回答児童85%以上を達成する。		
	帯タイムや休み時間、家庭学習等を使い、読書に親しむ習慣を身に付け、全校読み上げ冊数11,700冊以上を達成する。		
豊かな心の育成と人間関係づくり	毎日の月目標(学校統一)の振り返りを通して、自他の頑張りを認め合い、互いに支え合う支持的学級風土をつくる。	・毎日、各学級において月目標を振り返り、互いの頑張りを認め合い、共に成長しようとする雰囲気をつくることができた。毎日パーフェクトの連続で表彰される学級も増えた。 ・毎月10日のいじめゼロの日を中心に、児童会で愛宕浜の輪Weekを設定し「2020ありがとうビー玉貯金」の取組と連動させ、よさや頑張りを可視化することができた。2月末現在で1150個以上のビー玉が貯まっている。 ・道徳の時間を中心に、機会を捉えて相手の気持ちも考えて行動することの大切さを指導してきた結果、児童の「思いやり」の項目の自己評価達成率88%となっている。 ・Let's TRY達成率80%以上達成児童は93%である。	
	児童会活動や「ありがとうビー玉貯金」の取組等を通して、自他のよさを可視化し、自他を大事にする心情を育む。		
	道徳教育の充実を図り、毎月の振り返りにおいて、「思いやり」項目に対する肯定的回答児童85%以上を達成する。		
	毎月の振り返り(自己評価)を通して、Let's TRY達成率80%以上と回答する児童の割合90%以上を達成する。		
信頼される開かれた学校づくり	定期的なお便り等の発行、機を捉えた保護者への連絡、可能な限りの個人面談・懇談会・サポーター会議を設定する。	・定期的なお便りの発行・個人面談、機を捉えた保護者への個別連絡は行えたが、コロナ禍において諸会合は中止せざるを得なかった。 ・個人面談や連絡等、担任を中心に細やかな対応に心がけてきた結果、保護者アンケート「学校に気軽に相談できる」肯定的回答86.6%となっている。 ・毎月欠かさず心のアンケートを行い、担任・生徒指導部・管理職で細やかな見取りと指導、経過観察を続けた。いじめ・不登校等の未然防止・即対応体制はできている。 ・部会30分以内、研修・会議60分以内を目標に仕事の効率化を図り、働き方改革を進めることができた。	
	保護者向け学校評価アンケート「学校に気軽に相談できる」の項目で肯定的回答の割合85%以上を達成する。		
	毎月1回アンケートを行い、担任・学年・管理職等で情報を共有し、いじめ・不登校等の未然防止・即対応体制を整える。		
	各研修・会議の効率化を図り、週1回定時退校日による働き方改革をすすめる、計画的に活力ある教育活動を推進する。		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
○学校長を中心に先生方のチームワークのよさが、子供にも安心感を与え、落ち着いた学校生活を送ることができている。 ○コロナ禍であっても、子供の気持ちに寄り添い、様々な工夫や新しい取り組みを通して、教育成果を上げつつ新しい時代への教育を展開され始めたことは大いに評価できる。特に読書習慣の構築が大いに進んだことは大成功と言える。 ○英語教育への研究を積み重ねてきた結果が、6年生の姿に表れていることは大変喜ばしい。これからのグローバル社会に羽ばたく子供にとって必要不可欠になる教科であると考えれば、次年度以降もさらに研究を進めていただきたい。 ○次年度も制限のある学校生活様式が継続されることを考えると、ICTのさらなる活用にぜひ取り組み、調べ学習のみならず、表現力の育成にぜひつなげてもらいたい。			